

## もう 盲ろう

視覚と聴覚の両方に障害がある状態を「盲ろう」と言います。

視覚障害と聴覚障害、それぞれの障害の程度によって、「全く見えないし聴こえない」「全く見えないが少し聴こえる」「少し見えるが全く聴こえない」「少し見えて少し聴こえる」など、人により状況が大きく異なります。

盲ろうの状態になる経緯も様々ですが、社会参加をするためには、情報入手・コミュニケーションの支援や移動の介助が不可欠です。

### ※ 盲ろうに関する相談

障害者総合支援センター（ウェルポート）など………P.32～参照

## 必要な配慮等

● その人によって、コミュニケーションの仕方が違うため、必要な配慮やコミュニケーション方法を確認する。

● 相手の手のひらに指先などで直接文字を書く。  
（手書き文字）

● 少し見える人には、大きな文字での筆談で。



● 少し聴こえる人には、耳元ではっきりゆっくり話す。  
（大きな声で話すとかえって聞きにくい場合がある）

## こんなことで困っています

◆ 見えない、聴こえないために、災害などの情報がテレビやラジオなどから得られないので、直接伝えてもらわないと分からない。

### 寄せられた好事例

◆ 金融機関のATMで、音声ガイドのほかに点字で操作できるものがあり、音声ガイドやタッチパネルが使えなくても、自力で操作でき助かります。

